

# 経営比較分析表（令和4年度決算）

長野県 立科町

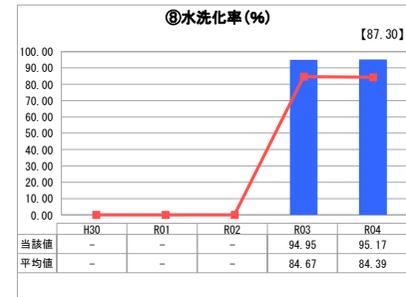
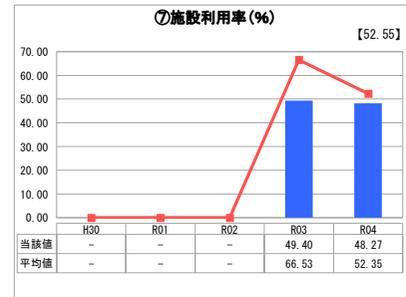
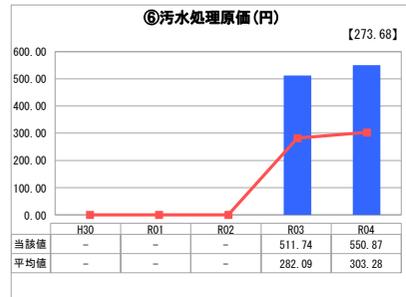
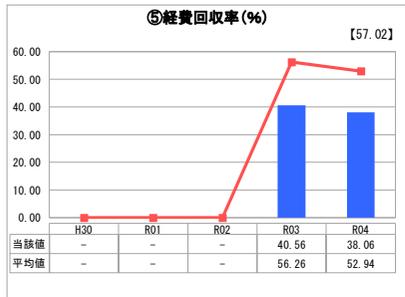
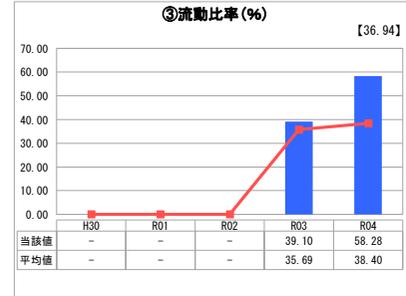
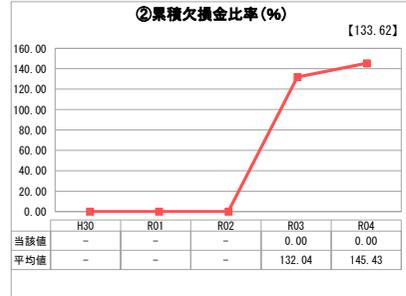
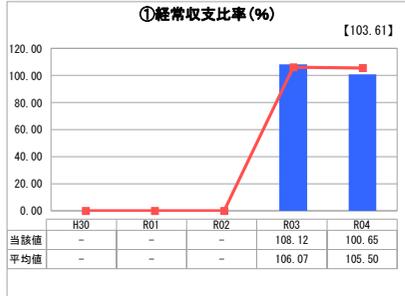
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20 <sup>3</sup> 当たり家賃料金(円)
-	88.31	43.82	92.33	4,290

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
6,843	66.87	102.33
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
2,979	1.77	1,683.05

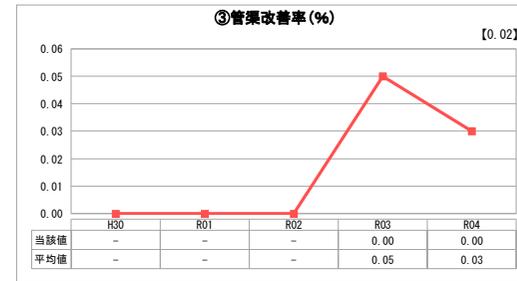
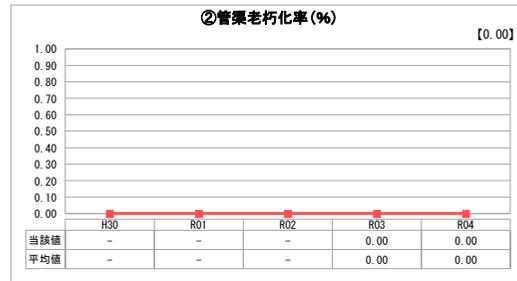
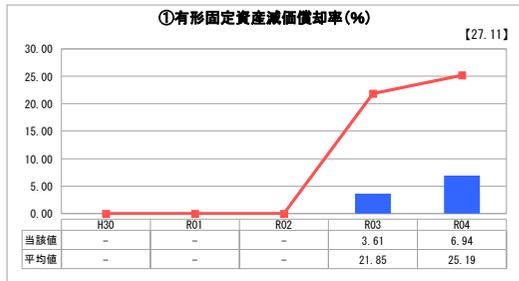
**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- [ ] 令和4年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率について  
 使用料収入にて総費用を賄っておらず一般会計からの繰入金への依存が大きい。健全経営のために更なる費用削減、更新投資等の精査を進め経営改善を図る。

② 流動比率について  
 今後キャッシュの状況を見ながら比率を抑えていく。

③ 企業債残高対事業規模比率について  
 企業債の負担が大きい。今後もキャッシュの状況を見ながら比率を抑えていく。

④ 経費回収率について  
 計画的な機器類の整備と延命化を図るなど経費の削減に努めているが、今後も健全経営をしていくためには更なる費用削減、事業費の平準化を見直していく必要がある。

⑤ 汚水処理原価について  
 今後も経営の安定化のために維持管理の削減、投資の効率化を行い経営改善を図るが、人口減少からの有収水量の減少が懸念される。

⑥ 施設利用率について  
 人口減少により施設利用率は今は増加していかないとされる。人口減少が続くことで、効率的な稼働は難しく、統廃合等を視野に維持管理する必要がある。

⑦ 水洗化率について  
 類似団体、全国平均と比較すると高い水洗化率となっている。しかしながら、人口減少が進む中、水洗化率100%を目指すためには未接続世帯への水洗化を推進していく必要がある。今後も水洗化を推進していく。

### 2. 老朽化の状況について

農業集落排水事業は4地区で構成され、平成5年から11年までに供用開始した。20年以上経過しており、平成27年に最適整備構想を策定した。なお、現状としては各処理場、管路施設等については大きな劣化はないが、今後は計画に基づき適切な維持管理、必要な修繕、改築を進め、長寿命化を図る必要がある。

## 全体総括

人口減少の影響もあり、今後の有収水量は期待ができない。そのため使用料収入、経費回収にも影響が予想される。また、更新投資等における事業費の増加などが懸念される。農業集落排水事業の健全経営のために計画的な施設改修、財源確保のための交付金の活用、公共下水道への統廃合による接続、料金改定を視野にいれた健全経営を図っていく必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。